

事業所名 北但広域療育センター 奈佐事業所 らみい

支援プログラム (参考様式)

作成日 2025 年 2 月 1 日

法人 (事業所) 理念		<p>利用者の人権を尊重して、利用者が全人的に生かされることを目指してし円します。 ICFの障害観点に立って、生活、環境をも考慮した質の高いサービスの提供を目指します。 北但馬の療育の中核として、職員の専門性の向上を図り、地域(教育、医療、福祉、家庭)との連携体制の構築を図ります。 キリスト教精神を持って、日々、利用者と接します。</p>					
支援方針		<ul style="list-style-type: none"> ・楽しく学ぼう。 ・選択する力、生活力、動作力、コミュニケーションの方法、社会のルール等グループの中で一人ひとりに合わせた支援をします。 ・気持ちと仲良しになろう。 <p>自分を認め、自分らしく過ごせるように支援します。 ☆学校・家庭・地域につながる支援をします。</p>					
営業時間		9 時	0 分から	18 時	0 分まで	送迎実施の有無	あり なし
支援内容							
本人支援	健康・生活	<ul style="list-style-type: none"> ・スケジュールを視覚的に提示し、見通しを持って過ごす事が出来るように支援します。 ・衝立を使用する等、本人が安心して分かりやすく過ごす事が出来るように構造化された空間で活動を行います。 ・クッキングを行い朝食作り等自分で出来る事を増やし、達成感や自己肯定感、自立に繋げていきます。 ・チャレンジ療育を通して様々な活動(カヌー、ボルダリング、ぶどう狩り等)の経験を積み重ねる事が出来るよう支援します。 					
	運動・感覚	<ul style="list-style-type: none"> ・サーキット、しっぽ取り、だるまさんがころんだ、ドッジボール等、楽しみながら体を動かす活動を取り入れる事で運動機能や感覚統合を促進出来るように支援します。 ・ご本人の感覚等も把握しながら環境面についても配慮して支援します。 ・<療法士個別>口のマッサージや体操、吹く遊び等を通して食べる・話すために必要な口腔機能の向上を図ります。 ・<療法士個別>発達段階に応じた運動を経験することで体力や運動機能の向上を図ります。また、2つの課題を同時に実行する力や力加減の調整などが行いやすくなるように支援します。 					
	認知・行動	<ul style="list-style-type: none"> ・ビジョントレーニングを通して集中して見る力、手と目の協応等見る力を伸ばし、読む力や書く力を高める事に繋げていきます。 ・よく聞こうゲーム等の活動の中で、集中して聞く力をつける事が出来るように支援します。 ・<療法士個別>さまざまな遊びを通して、新たな気づきが得られるような活動の機会を提供します。自身で考え、状況に応じた行動調整ができるように支援します。 					
	言語 コミュニケーション	<ul style="list-style-type: none"> ・遊びの時間や活動の中で、相手への適切な伝え方ややりとりの仕方を伝えていきます。 ・お子さまに応じて、絵カード、状況をイラストに描く、プリントを通して考える等一人ひとりに合わせた支援を行いコミュニケーションの方法を伝えます。 ・<療法士個別>遊びや課題を通して、発話を促し、コミュニケーションを楽しめるようにします。 ・<療法士個別>発達段階に応じて要求など思いの伝達方法を検討します。発音が不明瞭な場合には、発音の練習をして自信をもってお話しができるよう支援します。 					
	人間関係 社会性	<ul style="list-style-type: none"> ・活動の中でのルールや手順を視覚的に分かりやすく伝え、理解へと繋げていきます。 ・公共機関、公共施設を利用した活動(電車に乗って足湯に行こう、買い物に行こう、コバスに乗ってドーナツを買いに行こう等)を通して公共のマナーやルールを学ぶ事が出来るよう支援します。 ・気持ちと仲良しになるプロジェクト等、気持ちの理解を深める活動を行います。(リラクスの方法、アンガーマネジメント、困った時どうするか等) ・<療法士個別>活動時間を本人と一緒に決めて取り組むことで、見通しを立てたり、自己決定、時間を守りながら行動する力を身に付けられるように支援します。 ・<療法士個別>周囲の大人や友達と楽しく関わる経験を通して、協力できる力を身に付け、良好な関係を築けるように支援します。 ・<療法士個別>自分や相手の気持ちを知り、自分と他者との違いを理解したうえで互いに認め合えるよう一緒に考えます。 					

<p>家族支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・来所された際に家庭での様子や学校での様子を丁寧にお聞きし、いつでも相談していただけるように体制を整えています。 ・保護者学習会やペアレントメンターさんとの相談会の場を設けています。 ・相談内容に応じてそれぞれ専門職の視点からアドバイスを行っています。感覚や認知の特徴を共有し、子育ての助けとなるように必要に応じて相談する機会を設けます。 ・親子分離の療育は、こどもが家族と離れてチャレンジしてみる時間、またご家族に休んでもらう時間とも考えています。 	<p>移行支援</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・他の事業所を利用される際にも、こどもの支援がスムーズに行くように情報の共有を行います。 ・保育所等訪問支援事業と情報共有し、本人が安心して過ごせるように支援します。
<p>地域支援・地域連携</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・学校や医療機関、相談支援事業所等、ご本人に関係する機関と連携をとりながら支援を行います。 	<p>職員の質の向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・職員研修を行い療育のアドバイスを受け、職員の質向上に努めています。
<p>主な行事等</p>	<p>お楽しみ会、外出支援(コバス、電車)、らみいカフェ(保護者支援)、避難訓練、風祭り</p>		